

上智学院中長期計画「グランド・レイアウト 3.0 -2030 に向けて-」

基本理念

「他者のために、他者とともに（For Others, With Others）」生きる人の育成
「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ / Sophia - Bringing the World Together」を基盤とした教育・研究・社会貢献の実現

部門共通・3つの方針

1. 基本理念の具現化（世界の課題解決に貢献する教育研究の実践）
2. 選ばれ続ける学校としてのエンゲージメントの強化
3. 持続的な発展のための財務基盤・運営体制強化

2030年に向けた「10」のコミットメント

MAGISを目指す

上智学院とその設置校は、イエズス会学校としてカトリック学校としての伝統を堅持し、その特色を活かしながら、世界の課題解決や社会変化に積極的に対応することで、より良い世界の創造・世界の調和に貢献し、卓越した存在を目指します。

① GX・SXの推進による共に暮らす家（地球）への配慮

- カーボンニュートラルの実現
- ラウダート・シ/UAPs
- 持続可能な未来の創造に貢献



② DXによる新たな教育研究運営へのシフト

- 教育DXの促進
- DXによる運営の効率化



③ 共生社会実現への貢献（課題解決に向けた教育・研究の展開）

- SDGs/ESG投資
- 人間の尊厳 / 社会正義
- 全ての人のウェルビーイング



④ グローカルにつなぐ（地域や世界につながるグローバルハブに）

- グローバルワンキャンパス
- グローバルネットワーク
- 世界水準の研究



⑤ 教育機会拡大への貢献（他者に寄り添い、未来へつなぐ教育の展開）

- 新たな社会人教育
- 産学共同プログラム
- 社会的弱者の支援と貢献



⑥ DEI&Bの推進（ひとりひとりを大切に、安心・安全な学校に）

- 構成員の安心・安全・ウェルビーイング
- 障がい者採用 / ウーマンエンパワーメント



⑦ 社会・地域連携：エンゲージメントの促進（ステークホルダーとの対話・発信・連携・共感）

- 地域・企業・社会との連携
- ステークホルダーとのコミュニケーション
- 他の学校とのアライアンス



⑧ 迅速・柔軟かつ効率的な運営（マネジメントの精査）

- ガバナンス改革
- コンプライアンス
- データドリブンマネジメント



⑨ 学内融合と連動：エンゲージメントの強化（学校間の連携、教学・法人の連動）

- 各学校の連携
- 教学と人事・財務・施設・ICTの連動



⑩ 全員参加とコミットメント（ソフィアファミリー全構成員の共同識別と協働）

- 構成員への説明と意見聴取
- 学生・生徒（若者）とともに



【部門別】取り組みの柱

大学部門

Pride in Sophia Quality :

人の育成、研究、グローバル社会への貢献という
全方位に卓越するSophia Qualityの追求

1. グローバルな視野とローカルな視点で他者に寄り添い、未来を創るリーダーの育成
2. グローバル社会に貢献する世界水準の研究の推進・拠点の確立
3. サステナビリティを高水準で実現するグローバル・ワンキャンパスの確立
4. グローバル社会および多様なステークホルダーとの連携強化
5. 持続的発展を力強く支える組織、財務基盤の確立

短大部門

1. 地域社会の課題解決を目指す教育研究活動を実践する
2. 学生の進路選択を可能とする教育プログラムを充実する
3. 安定的な学校運営のための環境を整備する

中等教育部門

- I イエズス会学校であり続ける
- II 地域社会に魅力的な学校であり続ける
- III 教育環境／組織人員体制を整える

1. イエズス会学校の10の識別子に沿って、学校運営を行う
2. イエズス会教育を継承する、担い手を養成する
3. 上智大学との繋がりを持ち続ける

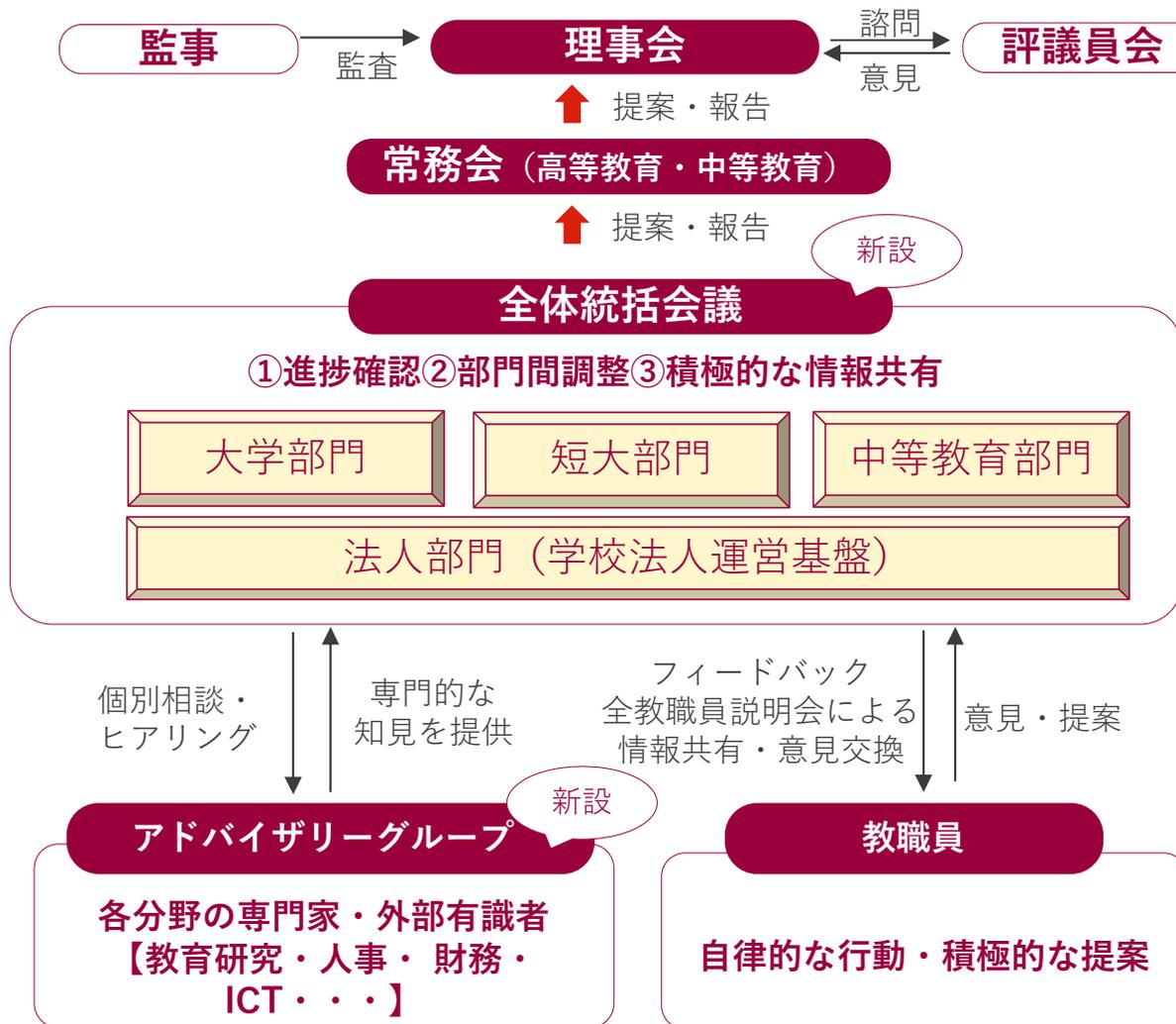
法人部門（学校法人運営基盤）

1. 持続可能な社会に貢献し、社会的責任を果たすための体制を強化する
(ラウダート・シを意識)
2. 豊かな学びを支える安心・安全・快適なキャンパス環境を整備する
3. 教育研究の持続的発展を可能とする財務基盤をより一層強化する
4. 組織力を高める人事政策を実行する

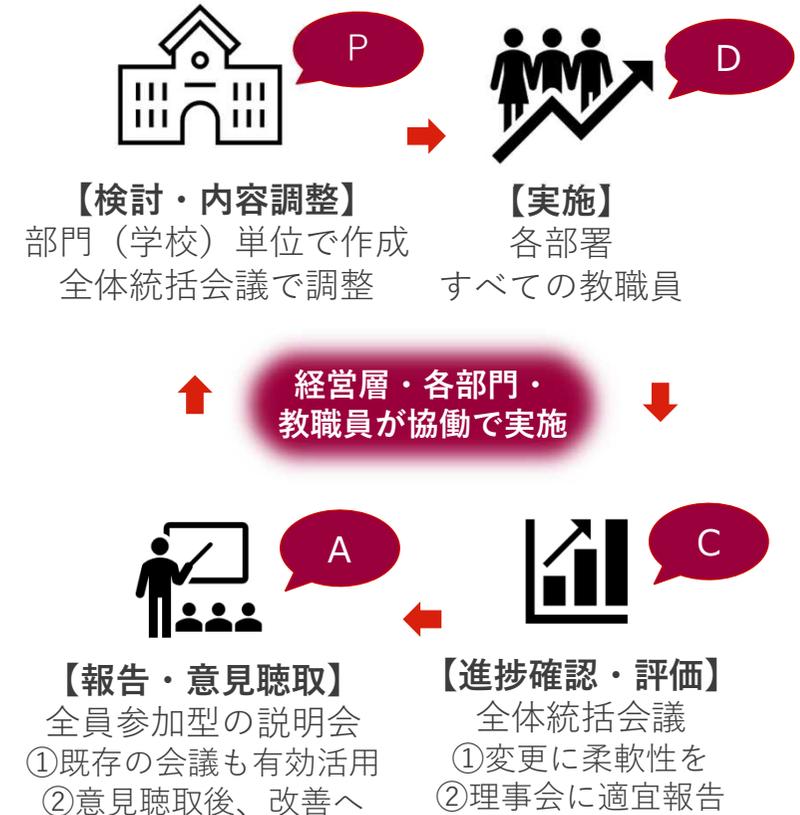
「2030年に向けた『10』のコミットメント」を実現するために、各部門が有機的に連携し施策を実施

「上智学院中長期計画」推進体制・PDCAサイクル

推進体制



P D C A



◆ 推進上のポイント

- ①教職員参画型手法の実現
- ②社会情勢や教職員提案をふまえた事業遂行の柔軟な見直し

中長期計画（大学部門）の全体構成

Pride in Sophia Quality：人の育成、研究、グローバル社会への貢献という全方位に卓越するSophia Qualityの追求

- ・グローバル社会から信頼を得る総合大学として、世界水準の教育、研究を推進することにより、新しい社会の創造に貢献する
- ・卓越したグローバル教育と、自らがデザインし個の基盤を深める多層的な学びの場を提供し、“他者に寄り添うリーダー”たるSophianを育成する
- ・次世代教育・研究環境の確立、共生社会の具現化、ステークホルダーとの対話を通し、求心力のあるグローバル・ワンキャンパスを創成する

1. グローバルな視野とローカルな視点で他者に寄り添い、未来を創るSophianの育成

- (1) 学び続け、主体的に考え行動する力を育てるSophia型「基盤教育」の確立
- (2) 多角的・俯瞰的視座の醸成に向けた学びや経験の場の提供と、全世界へのフィールド展開
- (3) 高校生-大学生-社会人の多層的な学びの実現

2. グローバル社会に貢献する世界水準の研究の推進・拠点の確立

- (1) 高水準の研究の推進と、それを支える人的および組織的体制の増強
- (2) 時代・社会の課題に応える本学の特色を生かした研究の推進
- (3) 若手研究者、女性研究者支援の促進

3. サステナビリティを高水準で実現するグローバル・ワンキャンパスの確立

- (1) 多様性を尊重し、すべての立場の構成員が心地よく学び、働くことができる環境の確立
- (2) サステナビリティ推進のための体制充実および取り組みの高度化
- (3) グローバル・ハブとしてのキャンパス機能のさらなる拡充と、最新のICTを活用したキャンパス環境の整備

4. グローバル社会および多様なステークホルダーとの連携強化

- (1) 多様なステークホルダーとの対話の充実
- (2) IRおよび広報機能の強化によるレピュテーションマネジメントの実践
- (3) 社会の課題解決に向けた産官および市民社会との協働の積極的推進

5. 持続的発展を力強く支える組織、財務基盤の確立

- (1) Sophia Qualityを実現する教学組織の確立
- (2) 持続的発展のための投資と大学運営の健全性のバランスを考慮した、短・中・長期を見据えた自律的財務・人事施策の確立
- (3) 教育・研究の新展開、学生支援、社会貢献を充実させるための事業立案と資金調達の実現